

平成24年 10月3日

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修 報告書

所属名	県央県土整備事務所	氏名	大住 遼
派遣先 団体名	邑智郡田舎体験交流協議会		
① 研修の目的 邑智郡田舎体験交流協議会への派遣スタッフとして小学生民泊受入の補助業務を通じて、邑智郡に関する理解を深め、地域運営における県民や各団体との連携・協働の必要性を理解する。			
② 研修の日時 平成24年9月26日～30日			
③ 研修の内容 【広島県伴南小学校田舎体験交流の運営スタッフ】 ＜場所＞邑智郡邑南町、美郷町、川本町 大田市三瓶町 ＜業務内容＞体験模様の記録係(写真撮影、写真編集、アルバムの作成) 田舎体験交流補助(登山補助、竹細工作り補助) その他雑務(資料作成、会場準備片付)			
④ 研修の感想 ～子供たちの眼差しに感動！～ 体験模様の記録係として、子どもたちの、真剣な表情、好奇心に満ちた顔、田舎での体験活動を通じてたくましく成長した姿を写真に収めるたびに、田舎体験交流は都会の子どもたちにとってとても貴重な体験だったに違いないと感じました。短期間のうちに子供たちが見違えるほど成長した姿を見ることができて、とてもうれしく思いました。今後もこの取組みを支え、継続し、発展させていく必要があると思います。 ～田舎体験交流協議会の概要～ 田舎体験の主催者である邑智郡田舎体験交流協議会とは、邑智郡3町(邑南町・美郷町・川本町)の農家民泊及び農家民宿、田舎体験を実施する住民を主体に行政の協力のもとに活動する団体です。邑智郡の3町が一体となり、地域振興を目的に事業を展開しています。事務局は、邑南町役場商工観光課が担当しています。 今回、邑智郡の3町の担当職員、民泊受け入れ施設及び県からの派遣職員が密に協力することで、地域振興、子どもたちの成長のサポートを図ることができました。			

～現状と課題～

しかしながら、受入側の抱える問題も今回の研修で見聞きすることができました。協議会においては、受入生徒数は年々増加しているにもかかわらず、受入スタッフの増員を図ることができないという人員不足が問題になっていました。また、事務局のある邑南町が他2町のより負担が多くなるというような体制の問題もみられました。受入施設においては、住民の高齢化や受入人数の増加に伴う受入準備の負担増加という問題が見られました。

～これからの地域運営～

このような問題に対し、今後この田舎体験交流が継続、発展していくためには、過疎高齢化に対応した地域づくりの方向性を示す必要があると思います。つまり、多様な主体の参画による、集落より大きな範囲で取組める仕組み作りが必要だと思います。今回のような研修を通じて県職員の意識改革を推進し、地域運営の仕組み作りを推進していく必要があると感じました。